

Hello, teachers!

Rain, rain, go away! Come again another day!



英語通信
No. 12
June, 2019
発行：香南中
笠井由加里

皆さんの手元に「新教育課程を生かす能力ベースの授業づくり」の本が届きましたね。私も、手元に来てから英語関係のページを確認して読みました。読んで字面で理解しているつもりでも、自分の指導案・授業のどこに活かしているのかと問われると、結局理解できていない自分を見出すのです。また、再考し修正をかけるという繰り返しです。



先日、香南中で「英語科授業づくり講座」がありました。

「授業づくり講座」について、聞いたことがありますか？ 昨年度南国市では、大篠小学校を「算数・数学科授業づくり講座」の拠点校として、香長中学校を「主体的、対話的で深い学びを実現する実践研究事業」の指定校として教材研究会、授業研究会を開催し、授業づくりについてみんなで学んできました。今年は、算数・数学科のみならず、国語科、道徳科、英語科に広がり、全県で「授業づくり講座」が開かれます。

5月28日には、中学校英語科の拠点校である香南中学校で、文部科学省調査官 山田誠志（やまださとし）先生を迎えて「英語科授業づくり講座」を開きました。「授業づくり講座」は基本的に、前述の①教材研究会（いわゆる、事前研と言われるもので、教材や単元計画、そして、公開するはずの授業の流れについて、模擬授業・協議などを通して学び合う会）と②授業研究会（いわゆる研究授業）の2つを1セットにしたものです。

「英語教育拠点校事業」の拠点校である香南中学校・須崎小学校・大宮小学校・東山小学校では、今年度それぞれ2セットの「英語科授業づくり講座」が開かれる予定です。香南中では、次は6月11日(火)に授業研究部会があります。

英語科授業づくり講座	1セット目		2セット目	
		① 教材研究会		① 教材研究会
	② 授業研究会		② 授業研究会	
香南中学校	① 終了		① 8月27日(火)	
	② 6月11日(火)		② 10月31日(木)	
須崎市立須崎小学校	① 終了		① 9月17日(火)	
	② 7月8日(月)		② 11月18日(月)	
香美市立大宮小学校	① 終了		① 9月3日(火)	
	② 7月2日(火)		② 11月25日(月)	
四万十市立東山小学校	① 6月18日(火)		① 8月29日(火)	
	② 7月9日(火)		② 11月1日(金)	

中部教育事務所管内では、香南中と、須崎小学校ですが、南国市の学校出発だと、大宮小学校も行きやすい距離にあると思います。セットで学べたらよりよいのですが、ご自分の日程と照らし合わせて、いずれかの研究会に参加してみませんか？ 小学校の講座には、鳴門教育大学准教授 中妻佳代先生が講師です。

自分が授業者でありながらこのようなことを言うのも変ですが、教材研究会をたくさんの先生と行うのは初めての試みで、参加者の先生方と授業者の自分が共に学べるようにするには、研究会当日に「何をすべきか」を考えました。自分が参加者の一人であったら・・・と考えたのです。

私は今までに、たくさんの研究発表会や、それに伴う公開授業(提案授業)などに参加しました。そのたびに、どれも素晴らしい授業で、たくさんの刺激を受けました。けれど、いつも同じ疑問が残りました。「これまでにどんな指導をしてきたがやろう?」、「この前の授業も見たかったな」とか。つまり公開される授業に至る道順にも興味を持つのです。だから、その疑問に少しでも答えられるような教材研究会になればと計画しました。参加者の方がどう思ってくれたかは、???ですが (o^—^o)ニ

^^教科調査官 山田先生から学んだこと 「言いたかったけど言えなかった事の共有」^^

左記の「授業づくり講座」の最後に、山田調査官の指導・助言の時間がありました。小学校の授業の中では、後半の活動に「目指す子どもの姿」により近づくように、活動の合間によく「中間評価」があります。その時、「言いたかったけど言えなかった事はありますか?」と問います。もちろん中学校の実践の中でも、同じです。けれど、中学校も2年生以上になると、「言いたかったけど・・・」表現は、その子個人のためだけの表現であり、それを授業内で共有してもどうだろうか、と思うこともありました。

<「言いたかったけど・・・」表現をみんなで共有する目的は何?>

★直山前調査官の話より

「朝ごはん何食べた?」
のやり取りから

S:「残りもん」てどう
いうの?
T:「残りもん」て何て言
うかな?・・・残りもん
て何食べたの?
S:う～ん、カレー。
昨日の夜、カレーやった
もん。
T:あ～だったら、
I ate curry. やね。

★山田調査官の話より

好きじゃない理由を
言いたい

S:「食感」てどういうの?
T:「食感」て何て言うか
な?・・・具体的にはどん
な感じなん?
S:サクサクした感じ。
T:サクサク?サクサク、
パリパリみたいな感じ?
S:うん。
T:そなん何ていうか知
ってる? crispy

崩
し
に
か
か
る

「本当の自分を語る」、「事実を語る」言語活動を通して学びをすすめることが求められている中、活動中に出てくる子供の発話は多岐に渡ります。教室では、その疑問すべてに答えることはできないけれど、いくつか一緒に解決しながら共有していきます。

教師の役目は「何て言ったらいい?」とたずねて、その表現を崩しにかかることです。そしてみんなで考え、既習表現の活用による言い換えを体験させ、言語活動の度にそれを行いながら訓練する、という目的もあるようです。

私たちが英語で表現しようとするとき、言いたいことは母語のレベルで考えて、表現するのは母語より低いレベルの英語で、ということになります。だから「平易な言い方で言うと」「具体物で例えると」とか、いつも自分の頭の中で、左の例のように「崩しにかかる」

という作業が行われなければならないのです。つまり、「言いたかったけど・・・」表現の解決の共有は、ひいてはこの先、子どもが自力で「伝えたい事」を崩して、自分の知っている言葉で言い換えることができる粘り強い communicator となるように、と願っての指導であるのです。どうしても言い換えることができない表現、英語の言い方を知らない名詞などは、日本語のまま使ってもよいのですが、あとで子どもからALTに、それがどんな色、形かなどキーワードで説明し、新しい単語を覚えてもらうこともできますね。

文科省から教員の学習用動画コンテンツや、研修用動画などが配信されています。見られた方もいる事でしょう。でも、なかなかそこに行き着くまでに複雑なようですので、googleなどで「山田誠志 動画」と検索すればよい、と教えていただきました。また、視学官の直山木綿子先生のお名前でも検索しても、また参考になる動画が出てきます。お時間の許すときに、ぜひ、チェックしてみてください。